

# ガバナー月信



in 道の駅「庭園の郷 保内」

## 月信9月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 青少年交換研修会
- ③ クラブ活性化セミナー
- ④ 米山記念奨学委員会および米山学友会報告
- ⑤ 2024 学年度米山奨学制度説明会
- ⑥ 米山学友による世界大会『再会 in 関東』
- ⑦ 地区研修委員会
- ⑧ 財団委員会通信
- ⑨ 地区主要行事予定 (9月・10月)
- ⑩ 新入会員紹介・訃報
- ⑪ コーディネーターニュース
- ⑫ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区  
2023-24 年度

## 米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574  
ホテルイタリア軒 B1  
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



## ガバナーメッセージ

2023-24 年度 ガバナー

**米山 忠俊** (三条北 RC)

新年度は7月、8月と厳しい気候で、皆様体調はいかがでしたか、お変わりありませんか。まだまだ暑い日が予想されますので、お体を大切にお過ごしください。

米山年度の公式訪問も、7月12日(水)の中条ロータリークラブを皮切りに、8月8日(火)の新潟ロータリークラブで15クラブ目の公式訪問を済ませお盆を迎えました。

各クラブ会長、幹事、会員の皆様から温かい協力、支援を頂き予定通り無事に進めており、改めて皆様に感謝申し上げます。訪問したほとんどのクラブが会員減少に不安があり、重要な課題として取り組んでおられました。会員増強、女性会員の増強について各クラブとの懇談会で意見交換をさせて頂き、大変有意義でした。

8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に向けて7月29日(土)ホテルオークラ新潟に於いて「クラブ活性化セミナー」が開催され、会員増強・戦略計画・広報・公共イメージアップ等について研修、会議がありました。午前中は各分区ガバナー補佐研修会、午後は各分区ガバナー補佐、各クラブ会員増強委員長、増強関係者出席のもと、

- ・基調講演・・・石本 隆太郎地区会員増強・戦略・広報委員長
- ・会員増強、事例報告発表・・・近 真由美 中条胎内 RC 会長エレクト
- ・クラブビジョン (CV) 戦略計画事例報告・・・井上 正栄地区戦略計画委員 (三条東 RC)  
乗木 邦友地区戦略計画委員 (新井妙高 RC)

まとめに全体会議があり、ブレインストーミングにて各分區別にガバナー補佐からの司会で討議がありました。地区各クラブの増強委員の皆様から、会員増強の情報を提供頂き、大変役に立つ素晴らしい「クラブ活性化セミナー」でした。参加者の皆さんに感謝申し上げます。

会員の減少は、全国的な問題で、人口の減少が要因の部分が大きく、2560地区でも同じです。直近の重要課題です。今のこの状況から、いかに先に明るい光を見出す方向に進んで行くか、地区の皆さんと一緒にクラブ活性化に取り組んでいきます。

活性化のキーワードは、DEI (多様性・公平性・インクルージョン) の実践と理解の促進です。持続可能な良い変化を生む為に、人々が手を取り合って行動するというビジョン (未来への展望、未来像) の実現には DEI は不可決です。皆さん宜しくお願ひします。



## 青少年交換研修会

青少年交換委員会  
委員長

坂上 彰平 (豊栄 RC)

昨年度オリエンテーションが終わり、長期派遣学生6月・7月は出国の準備をしています。

短期派遣学生は、本年度は変則な形になっており、アメリカのオレゴン州から来た学生はこれまでの形で交換になりました。ドイツの交換学生は時間の都合上、先に派遣学生がドイツに行き後でドイツの学生が来る形になりました。

例年ですと、短期で来られた学生を東京に研修旅行に連れて行くのですが、本年度は、世界遺産登録が間近な佐渡を選びました。オレゴン州から6月28日に来たパトリシアさんと短期派遣学生の斉藤さんを連れて7月18日朝ジェットフォイルにて、佐渡に向かいました。曇り空でしたがお天気は良い方でした。到着後、佐渡南ロータリークラブの例会にお邪魔させてもらい昼食を。そこで学生には自己紹介をしてもらいました。小木のたらい船にこれから乗りたいと話したところ、小木の先に宿根木の方が良い所だと紹介されましたので宿根木に向かいたらい船に乗り、宿根木の町並みにある三角屋などを見学して来ました。パトリシアさんと斉藤さんはたらい船から見えた海の底がとても綺麗でしたと楽しそうに話してくれました。

宿根木から佐渡金山に向かいましたが時間が間に合わず見学は明日に回し、北沢浮遊選鉱場跡を見学し、1日目が終了致しました。2日目はあいにくの雨になりましたが佐渡金山展示資料館に行きました。施設の中に金の延べ棒を取り出すアトラクションがあり、パトリシアさんが何回もチャレンジしていました。そしてトキを見にトキの森公園を見学し佐渡を勉強してきました。

今回佐渡研修にして二人の意見を聞いたところ、とても楽しめたと言っていました。遠くまで行かなくても新潟にも良い所がまだまだありますね。インバウンドの学生に新潟の良い所をもっと見て頂きたいと思いました。





## クラブ活性化セミナー

第 2560 地区 会員増強委員会  
戦略計画委員長

**大澤 力** (新潟西 RC)

酷暑の候 7月29日(土)、ホテルオークラ新潟にて「クラブ活性化セミナー」を開催しました。昨年までの会員増強セミナーですが、4年前の大谷ガバナー年度から、会員増強を効果的に行うためには、長期戦略に基づいた計画と共に、ロータリーの広報公共イメージ向上が欠かせないという考えで、会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会は密接不可分のものとして3年委員会へと1本化されました。各クラブでもこの考えを共有してもらえるように、会員増強、戦略計画等の事例報告も充実させての内容となりました。

米山ガバナーから各クラブの会員増強を鼓舞する開会ご挨拶を頂き、石本委員長の基調講演、中条胎内 RC・近 真由美会長エレクトの会員増強事例報告の後、クラブビジョン・戦略計画の目的と期待される効果について戦略計画委員会でプレゼン後、井上正栄委員(三条東)、乗木邦友委員(新井妙高)から事例報告を頂きました。

新井妙高・三条東・新潟西では4～5年前からクラブビジョン・戦略計画を導入し、会員維持・増強という点でもクラブが活性化している事例をスライドで紹介した後、

各分区に分かれて、ガバナー補佐を進行役にブレインストーミングを行いました。

いずれのグループも充実したディスカッションが出来たものと確信しており、参加された各クラブ会員増強担当者は、今年度の純増を心に誓い合いながらの閉会となりました。酷暑の中、ご参加頂いた皆様とスタッフ方々に心より感謝申し上げます。



## 新井妙高・三条東・新潟西 直近10年 会員数推移

	各年度7月1日	新井妙高（新井）RC	三条東RC	新潟西RC
佐々木G年度	2014-15	29	30	32
山本G年度	2015-16	32	34 (10周年)	39 (40周年)
田中G年度	2016-17	32	31	37
新保G年度	2017-18	29	32	41
川瀬G新保G年度	2018-19	30	33	39
大谷G年度	2019-20	33	34	37 (ビジョン)
佐藤G年度	2020-21	32 (名称変更・ビジョン)	33 (ビジョン)	38
高尾G年度	2021-22	31	31	39
高橋G年度	2022-23	35	32	38
米山G年度	2023-24	32	37	41

昨年度よりビジョン声明のフラッグを例会時掲げる



このフラッグを掲げ行くぞ新井妙高！



## 米山記念奨学委員会および 米山学友会報告

米山記念奨学委員会

委員長

渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

皆様には日頃より、米山記念奨学事業へご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

米山記念奨学委員会では、8月8日(火)に2024学年度「米山制度説明会」を、県内15の学校担当者の皆様にお越しいただき開催いたしました。詳しくは後のページで選考委員より報告いたします。

また、同日に米山委員研修会を主に新人委員向けに行いまして、米山奨学事業について・地区の状況について等の引継ぎや意見交換を行い、今年度も米山委員一丸となって活動していくことを確認いたしました。

米山学友会報告といたしましては8月4～6日につくば市で米山学友による世界大会「再会 IN 関東」が開催され、委員会からは私と小委員長3名で参加して参りました。

世界に散らばった2560地区の学友達とも再会で楽しく有意義な時間となりました。

この大会は学友達で全て運営しており、寝食を惜しんで会を準備設営し、またこの日のために世界中から大勢の米山学友が集まっており、米山学友の思いが伝わってくる大会でした。

「世界に平和の種を蒔く」という米山奨学事業の財産は決して減ることなく、米山学友は世界中で活躍しています。

今後とも米山記念奨学事業にご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。





## 2024 学年度 米山奨学制度説明会

奨学生選考委員会  
委員

町田 英樹 (新発田 RC)

2024 学年度の米山奨学制度説明会が 8 月 8 日 (火)、ホテルオークラ新潟にて県内 15 の大学・高専の担当者の方々をお招きし、開催されました。

はじめに、米山記念奨学委員会の渡邊嘉子委員長より、開催の挨拶が行われ、奨学生の義務説明が中心となりました。また、近年問題となっている奨学金の打ち切りや辞退といった事例を回避するため、学校側からも学内選考時の選考プロセスの確実性や奨学生になった後の適切な指導を要望いたしました。

その後、米山奨学事業を理解していただくために、米山奨学事業の成り立ちを説明するビデオをご覧いただき、続いて織戸潔奨学生選考委員よりパワーポイントを用いて、応募の手続きから選考プロセス、奨学生期間中の義務として毎月 1 回以上の世話クラブ例会への出席とレポート提出、奨学期間終了後の元奨学生の組織である学友会への参加などを説明いたしました。

説明会の終了後には、参加者から熱心な質問が寄せられ、非常に有意義な時間となりました。当委員会も、ロータリアンによって選考される学生たちを大切に、交流を通じて指導していく所存です。皆様におかれましても、温かくご指導賜りますようお願い申し上げます。

2024 学年度の米山奨学生募集が開始されました。今後とも、米山記念奨学事業へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。







## 米山学友による世界大会 『再会 in 関東』

米山記念奨学委員会  
奨学生学友委員会  
委員長

渡辺 雅志 (長岡西 RC)

8月4日から8月6日につくば市で世界米山学友による世界大会『再会 in 関東』が開催されました。日本のロータリアン全地区による国際奉仕事業である米山記念奨学事業、その奨学金を支給し支援した奨学生は2万3千人を超えました。

米山学友会は、学友（元奨学生）を中心とする同窓会組織です。日本に33（34ロータリー地区）、海外に10（台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー・南ベトナム）、計43の学友会があります。

今回で3回目となる世界米山学友による世界大会『再会 in 関東』の本大会に参加してきました。

つくば国際会議場で行われた本会議には1200人も参加があり、そのうち3分の2は学友の参加者でした。世界各地から集まった米山学友の話を聞いていると、この米山記念奨学事業の意義深さをあらためて感じさせられました。

「ロータリアンはロータリークラブを辞めればロータリアンではなくなるが米山学友は一生、米山学友なんです。」

米山病（米山記念奨学事業にのめり込んでしまう感染力の強い良性の病気）がより重症化してしまいました。







## 南雲年度ガバナー補佐研修 パート 1

地区研修委員会 副委員長  
研修小委員会 委員長  
地区研修チーム

関川 博 (三条 RC)

8月19日(土)長岡市社会福祉センターにて「南雲年度ガバナー補佐研修パート1」が開催されましたのでご報告いたします。

研修会に先立ち南雲ガバナーエレクトより「COVID-19も落ち着き、いよいよロータリー活動を活発に行える時がきました。この機会に一度ロータリーを学び直しより良いロータリーライフを送るために、地区研修委員会が設立されました。」とご挨拶いただきました。

佐藤地区研修委員長より「地区研修委員会が設立された経緯は、ガバナー月信7月号と8月号に記載しました。当地区で潜在的に抱える問題点が、COVID-19の影響により益々顕在化しています。それが具体的な事象に移る前になんとしても止めなくてはならない、というのが高橋年度で開催された地区運営改善検討委員会の大命題でした。その一環としてスタートした地区研修の第一弾が『ガバナー補佐研修』です。今までガバナー補佐への研修はほとんど開催されておりました。ガバナー補佐は、その名の通りガバナーを“補佐”することが最大の任務ですが、ガバナーを補佐するだけではなく、分区各クラブとガバナーあるいは地区委員会との橋渡しとなることや、担当する各クラブの相談窓口であり、常に寄り添い支援する存在です。」との、ガバナー補佐経験者ならではの力強いお言葉をいただきました。

今回の研修会では、高橋地区研修チームリーダーによるビデオ講義により概要を受講していただき、セッション毎に私が補足説明と質疑応答をする形で進行いたしました。

参加された、第二分区山崎勲ガバナー補佐、第三分区金子洋ガバナー補佐、第四分区杉山幸英ガバナー補佐、第五分区阿部房雄ガバナー補佐、第七分区和泉伸一郎ガバナー補佐は、ひとえに真剣な面持ちで参加されており、終了後のご意見では「ガバナー補佐の仕事がIMだけじゃないことが良くわかった。」と研修の目的や内容を正しく理解され、「ガバナーを支えつつ担当するクラブと向き合う。」というご意見をいただきました。

地区研修委員会が今後、更にステップアップし継続するために、室賀ガバナーノミニ、関根地区幹事にもご参加いただきました。



19日当日都合がつかなかった第一分区風間良光ガバナー補佐、第六分区吉田之人ガバナー補佐は8月22日（火）株式会社いすゞ製作所にて、補講を受講いただきました。また併せて阿部地区幹事よりガバナー補佐会議の内容説明も実施いたしました。



次回、南雲年度ガバナー補佐研修パート2は、10月1日開催予定です。より具体的にガバナー年度の活動をワークショップ形式で進めます。



# 「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信



「寄付と認証」についてご理解とご協力をお願いいたします。

## 1. 寄付の分類

ロータリーは、ガバナーが、地区ロータリー財団委員会、地区研修・協議会、地区とクラブの財団セミナー、クラブ訪問などの正規の経路を通じて、ロータリアンとクラブによるロータリー財団への寄付の重要性を強調するよう提案しています。

### (1) 年次基金

「年次」というのは“毎年続ける”ということで、財団の「Every Rotarian, Every Year」の取り組みを通じて寄せられる寄付です。

ロータリークラブや地区が地元で奉仕プロジェクトを実施したり、奨学金を提供したりする為の補助金として活用されるほか、国際的な取り組みを支える大切な資金となります。

### (2) 恒久基金

恒久基金は、ロータリーの活動を支えるための基金です。

基金の投資収益の使用可能な分は、年次基金を補足すると共に、ロータリーの優先項目を支援します。

### (3) ポリオプラス基金

ポリオを世界から根絶するという目標の支援のための寄付です。

## 2. 認証の分類

ロータリー財団では、寄附に対して感謝の気持ちを表すために、様々な認証の機会を用意しています。個人の認証には以下のようなものがあります。

### 財団の友：

次基金に毎年 100 米ドル以上寄付された方（個人）。

### ポールハリスフェロー (PHF) / マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (PHS+1~PHF+8)：

年次基金、ポリオプラス、あるいは財団が承認した補助金への拠出、累計 1,000 米ドル以上寄付した方。その後 1,000 米ドル毎にマルチプル・ポール・ハリス・フェローが授与される。

### ベネファクター：

恒久基金に 1,000 米ドル以上寄付した方、または資産計画にロータリー財団を受益者として指定する事を書面にてロータリー財団に通知した方。

### メジャードナー (MD)：

寄附分類に関係なく寄付の累計が 10,000 米ドル以上に達した個人または夫婦。

### アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS)：

寄付分類に関係なく寄付の累計が 250,000 米ドルに達した個人または夫婦。

～ ご協力ありがとうございました ～

2022-23年 高橋年度 2023年6月(8月1日現在)ロータリー財団寄付額

分区	RC名	会員数 (人)	年次基金 (一人当たり)	(参)21-22年度 一人当たり(\$)	年次基金	ポリオプラス基金 (一人当たり)	ポリオプラス基金	その他の基金	恒久基金	寄付総計(\$)	(参)21-22 総計(\$)
1	新発田	88	155.19	195.96	13,657.00	30.34	2,670.00	4,200.00	0.00	20,527.00	22,034.36
	村上	38	116.75	152.87	4,436.44	22.45	853.11	0.00	0.00	5,289.55	6,674.38
	水原	33	150.00	227.28	4,950.00	33.00	1,088.97	0.00	0.00	6,038.97	8,770.67
	中条	44	169.79	151.56	7,470.55	25.07	1,103.00	0.00	0.00	8,573.55	7,596.04
	新発田城南	38	84.58	107.45	3,214.00	11.34	431.00	0.00	0.00	3,645.00	4,907.90
	豊栄	23	142.36	103.39	3,274.26	30.00	690.00	0.00	0.00	3,964.26	2,787.87
	新発田中央	45	160.00	160.23	7,200.00	32.00	1,440.00	0.00	0.00	8,640.00	8,460.00
	中条胎内	36	122.33	191.09	4,403.97	28.13	1,012.55	0.00	0.00	5,416.52	7,959.12
	村上岩船	27	190.46	142.49	5,142.52	30.00	809.95	0.00	0.00	5,952.47	4,769.82
2	新潟	79	102.97	147.42	8,134.65	30.77	2,431.00	0.00	2,000.00	12,565.65	14,168.94
	新潟東	63	159.98	109.03	10,078.72	50.79	3,200.00	525.00	0.00	13,803.72	10,384.92
	新潟南	108	131.09	171.73	14,157.97	14.23	1,537.29	5,250.00	0.00	20,945.26	20,188.89
	佐渡	5	110.00	94.57	550.00	0.00	0.00	0.00	0.00	550.00	567.39
	新潟西	38	97.13	137.61	3,690.92	33.39	1,268.97	1,126.92	0.00	6,086.81	7,616.81
	佐渡南	38	57.68	66.63	2,191.87	29.21	1,110.00	525.00	0.00	3,826.87	4,420.13
	新潟北	35	53.14	150.29	1,860.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,860.00	6,670.60
	新潟中央	18	236.84	179.81	4,263.16	28.33	510.00	2,100.00	0.00	6,873.16	6,515.95
	新潟万代	42	155.43	152.95	6,527.88	23.81	1,000.00	0.00	0.00	7,527.88	7,301.00
3	新津	18	62.70	120.43	1,128.57	0.00	0.00	0.00	0.00	1,128.57	2,047.24
	村松	10	180.16	149.69	1,801.59	36.08	360.75	0.00	0.00	2,162.34	2,099.39
	白根	30	167.13	105.17	5,014.00	33.00	990.00	0.00	0.00	6,004.00	3,980.00
	新津中央	26	153.76	133.51	3,997.66	33.96	883.05	0.00	0.00	4,880.71	3,688.78
	阿賀野川ライン	5	97.74	100.00	488.70	0.00	0.00	0.00	0.00	488.70	600.00
4	三条	55	78.30	95.72	4,306.66	19.28	1,060.32	525.00	0.00	5,891.98	7,090.45
	燕	33	65.12	64.03	2,148.84	10.61	350.00	0.00	0.00	2,498.84	2,516.85
	加茂	32	59.38	45.06	1,900.00	6.56	210.03	0.00	0.00	2,110.03	1,749.99
	三条南	35	114.29	105.23	4,000.00	36.00	1,260.00	0.00	0.00	5,260.00	5,770.00
	分水	29	85.29	109.55	2,473.52	0.00	0.00	0.00	0.00	2,473.52	3,176.92
	見附	21	123.81	138.20	2,600.00	9.52	200.00	0.00	0.00	2,800.00	3,112.20
	吉田	28	51.61	63.04	1,445.00	30.00	840.00	0.00	0.00	2,285.00	2,635.00
	三条北	55	318.96	243.17	17,542.99	36.51	2,007.84	0.00	0.00	19,550.83	16,759.38
	巻	25	79.12	34.09	1,978.07	15.63	390.81	0.00	0.00	2,368.88	852.17
	田上あじさい	7	30.61	32.97	214.26	0.00	0.00	0.00	0.00	214.26	230.76
三条東	32	71.92	87.42	2,301.28	25.68	821.76	0.00	0.00	3,123.04	3,567.92	
5	長岡	44	160.80	153.14	7,075.21	31.36	1,380.00	0.00	0.00	8,455.21	8,256.78
	柏崎	40	79.73	23.24	3,189.02	31.50	1,260.00	0.00	0.00	4,449.02	2,182.64
	長岡東	52	170.38	186.32	8,859.75	29.32	1,524.64	0.00	0.00	10,384.39	11,338.60
	柏崎東	43	66.42	66.67	2,856.06	30.00	1,290.00	0.00	0.00	4,146.06	4,380.00
	栃尾	24	137.50	219.74	3,300.00	27.50	660.00	0.00	0.00	3,960.00	6,319.63
	長岡西	49	155.82	193.84	7,635.41	30.17	1,478.48	0.00	115.94	9,229.83	11,644.94
柏崎中央	39	41.59	66.17	1,622.17	2.54	99.02	0.00	0.00	1,721.19	2,681.75	
6	十日町	31	187.10	258.53	5,800.00	31.94	990.00	0.00	0.00	6,790.00	9,233.04
	小千谷	28	171.39	486.74	4,798.85	30.00	840.00	525.00	0.00	6,163.85	15,487.92
	雪国魚沼	25	114.40	204.54	2,860.00	15.60	390.00	0.00	0.00	3,250.00	4,450.85
	十日町北	14	57.46	109.16	804.44	15.00	210.00	0.00	0.00	1,014.44	2,474.85
	津南	16	75.01	146.80	1,200.14	15.00	240.00	0.00	0.00	1,440.14	2,668.87
	越後魚沼	6	116.67	140.98	700.00	35.00	210.00	0.00	0.00	910.00	905.90
7	高田	70	151.48	138.59	10,603.87	41.78	2,924.43	0.00	0.00	13,528.30	12,246.08
	直江津	71	152.16	162.71	10,803.38	30.42	2,160.00	0.00	0.00	12,963.38	13,297.19
	新井妙高	35	94.00	160.06	3,290.00	31.93	1,117.57	0.00	0.00	4,407.57	5,982.00
	糸魚川	42	99.96	155.67	4,198.40	8.96	376.27	0.00	79.71	4,654.38	6,817.60
	高田東	35	126.19	129.40	4,416.51	30.00	1,050.00	0.00	0.00	5,466.51	7,163.47
	糸魚川中央	27	167.78	164.64	4,529.98	32.53	878.40	0.00	0.00	5,408.38	5,382.10
	越後春日山	33	103.94	120.93	3,429.91	25.49	841.14	0.00	945.36	5,216.41	5,386.86
2560地区その他	0	0.00	150.00	0.00	0.00	3,614.72	0.00	0.00	3,614.72	5,058.85	
		1,963	127.62	145.55	250,518.15	27.54	54,065.07	14,776.92	3,141.01	322,501.15	355,031.76

## 第2560地区 2023-24年度7月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2023年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	—	—	378	382	38	4
新発田	4	31.1%	89	89	1	0
村上	3	17.9%	39	39	9	0
水原	4	29.0%	31	31	1	0
中条	4	93.8%	48	48	3	0
新発田城南	4	21.1%	38	38	4	0
豊栄	3	16.0%	25	25	2	0
新発田中央	3	4.2%	45	48	5	3
中条胎内	4	54.1%	37	37	7	0
村上岩船	4	22.2%	26	27	6	1
第2分区(9クラブ)	—	—	436	442	30	6
新潟	4	30.5%	78	82	3	4
新潟東	4	16.4%	61	61	7	0
新潟南	4	33.9%	114	115	7	1
佐渡	3	80.0%	5	5	0	0
新潟西	4	48.8%	40	41	2	1
佐渡南	4	13.9%	36	36	3	0
新潟北	4	35.1%	37	37	1	0
新潟中央	3	31.8%	22	22	0	0
新潟万代	4	51.2%	43	43	7	0
第3分区(5クラブ)	—	—	91	92	5	1
新津	2	20.0%	15	15	1	0
村松	4	46.2%	12	13	0	1
白根	4	28.1%	32	32	1	0
新津中央	4	38.5%	26	26	3	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)	—	—	364	367	28	3
三条	4	8.9%	53	56	0	3
燕	4	7.5%	39	40	3	1
加茂	4	6.9%	29	29	4	0
三条南	4	17.1%	42	41	2	-1
分水	4	71.0%	31	31	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	3.6%	28	28	3	0
三条北	4	9.6%	52	52	2	0
巻	3	7.4%	27	27	3	0
田上あじさい	4	14.3%	6	6	2	0
三条東	4	5.4%	37	37	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2023年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	—	—	287	295	28	8
長岡	4	68.8%	46	48	4	2
柏崎	2	2.4%	42	43	0	1
長岡東	3	24.1%	54	58	7	4
柏崎東	3	20.0%	40	40	2	0
栃尾	4	14.3%	21	21	1	0
長岡西	4	18.4%	48	49	3	1
柏崎中央	3	25.0%	36	36	11	0
第6分区(6クラブ)	—	—	125	125	12	0
十日町	3	32.3%	31	31	4	0
小千谷	4	9.7%	31	31	3	0
雪国魚沼	4	15.4%	26	26	3	0
十日町北	3	0.0%	15	15	1	0
津南	4	21.4%	14	14	1	0
越後魚沼	3	12.5%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	—	—	309	310	21	1
高田	3	31.9%	68	70	4	2
直江津	3	36.1%	72	72	6	0
新井妙高	3	12.5%	32	32	1	0
糸魚川	4	95.2%	43	42	3	-1
高田東	4	63.9%	36	36	3	0
糸魚川中央	4	56.0%	25	25	0	0
越後春日山	4	81.8%	33	33	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
7月末会員数	2,013 人
女性会員数	162 人
純増減会員数	23 人
My Rotaryアカウント登録率	28.9 %

- ※4月末会員数の訂正  
新潟東RC 63人(うち女性8人)⇒63人(うち女性7人)  
第2560地区 2,008人(うち女性159人)⇒2,008人(うち女性158人)
- ※5月末会員数の訂正  
白根RC 32人(うち女性1人)⇒33人(うち女性1人)  
第2560地区 2,014人(うち女性159人)⇒2,015人(うち女性158人)
- ※6月末会員数の訂正  
高田RC 70人(うち女性4人)⇒68人(うち女性4人)  
第2560地区 1,982人(うち女性157人)⇒1,981人(うち女性156人)

## 地区主要行事予定

2023年8月29日現在

年 月 日		行 事		会 場	
2023年 (R5) 米山年度	9月	基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間			
		2	(土)	第2分区IM (田村G補佐・新潟西)	ホテルオークラ新潟
		4~5	(月~火)	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル 新高輪
		6	(水)	次年度の地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル 新高輪
		9	(土)	第5分区IM (原G補佐・長岡東)	ホテルニューオータニ長岡
		10	(日)	南雲年度結団式	長岡グランドホテル
		16	(土)	第3分区IM (山田G補佐・新津中央)	割烹 一楽
		30	(土)	第4分区IM (小出G補佐・三条東)	ジオ・ワールドVIP
		30	(土)	第6分区IM (庭野G補佐・十日町北)	レポート十日町
	30	(土)	長岡東RAC創立20周年記念式典	ホテルニューオータニ長岡	
	10月	地域社会の経済発展月間・米山月間			
		1	(日)	南雲年度第2回ガバナー補佐会議・ガバナー補佐研修パート2	まちなかキャンパス長岡
		7	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
		12	(木)	米山年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第4区分は10月11日)	湯田上カントリークラブ
		14	(土)	第1分区IM (長谷川G補佐・新発田城南)	月岡温泉 ホテル清風苑
		20	(金)	第8回日台ロータリー親善会議 台北大会	台北・マリオットホテル
		21	(土)	ライラ研修	ホテルオークラ新潟
28		(土)	第7分区IM (前川G補佐・直江津)	ホテルハイマート・ホテルセンチュリーイカヤ	

## 【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
白根	吉田 竹史	2023.06.29	株式会社 吉運堂	代表取締役	仏具製造販売
村松	松尾 隆寿	2023.07.04	(有)松尾組	代表取締役	土木・建築
高田さくら ロータリー 衛星クラブ	石塚 洋一	2023.07.07	合資会社柿屋商店	無限責任社員	食品販売
柏崎	今井 教範	2023.07.12	柏崎黒姫観光(株)	専務取締役	緑地管理
高田	廣田 徹	2023.07.14	(株)第四北越銀行 高田営業部	専務執行役員 高田営業部長	地方銀行
長岡東	荒木 法子	2023.07.26	民具館 太志	運営・管理者	古民具管理
新潟	塩野 貴義	2023.08.08	(株)ドコモCS 新潟支店	支店長	移動通信事業
新潟	高橋 智則	2023.08.29	日高商事(株)	取締役社長	電気器具配布
村上岩船	山ノ井 道夫	2023.07.03	(株)ヤマノイ	代表取締役	廃棄物処理業
新潟南	高橋 純子	2023.07.05	(株)第一印刷所	取締役	印刷
新潟西	羽田 朗	2023.07.06	(株)プロメディア新潟	取締役ビジネス統括センター長	映像企画制作
長岡西	大川 史生	2023.08.10	ファイナンシャル・ジャパン株式会社 長岡支社	支社長	保険代理業
長岡西	島村 正人	2023.08.10	株式会社サプラス・パートナーズ	代表取締役	不動産鑑定士
長岡西	中川 あい	2023.08.10	ETTO	代表	飲食業



## 第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 今井 高志 (弘前 RC)

第一地域ロータリーコーディネーター補佐(ARC)の今井高志(弘前 RC)です。橋岡久太郎 RC を補佐する立場で、担当地区は第 2830 地区(青森)、第 2540 地区(秋田)、第 2800 地区(山形)、第 2560 地区(新潟)となっています。

昨年度を振り返ると、GETS や地域リーダー会議等の会議には出席したものの、他地区に出向いての支援活動は出来ませんでした。唯一、第 2540 地区の淡路ガバナー(当時は DGE)から、地区研修協議会で話をして欲しいと要請がありましたが、日程が合わず、橋岡 RC にお願ひしてしまいました。

RC(含む ARC)の大事なミッションとして「会員増強」がありますが、我が第 2830 地区を例に検証してみたいと思います。

第 2830 地区の会員数は、本年 7 月 1 日現在で 1103 名です。2011 年の東日本大震災の頃から 1200 名を切り、当時のガバナーが「ミラクル 1200」というスローガンを掲げ、その後も 1200 名まで戻そうと必死に取り組んできました。

私がガバナー(2018-19 年度)の時も会員増強について「各クラブ 1 名以上増強、とくに 40 歳未満の若者と女性」を掲げ、「会員が増えればクラブが活性化し、資金も増え、さらなる奉仕活動ができ公共イメージが上がる、公共イメージが上がれば、一緒に奉仕活動をやりたい会員が増えるはず」と言ってきました。

1100 名を切ると他地区と合併させられるかもという危機感から一時 1200 名を超えた年度もありましたが、結局、毎年 70~80 名の新会員が入っても、同じかそれ以上の退会者が出て、ここ数年は 1100 名前後となっています。

いろいろ取り組んできて結果が伴わないのは、取組方法が間違っているのかと思ったりするが、恐らく「質と量の掛け算の面積」が足りないのだろうと思う。つまり、「入会勧誘の声がけをする」という方法は間違っていないが、単に「ロータリーに入って」だけでは入会してくれない。「ロータリーに入れば、どんな良いことがあるのかを、実体験をもとに話をする」という質を上げて、しかも「たくさんの方に声を掛ける」という量も増やし、面積を拡げる必要があります。

ただ、私も含めかなりの方が、会員増強=新入会員と思っていました。もちろん、新入会員を増やすことは大事ですが、同時に退会者を減らすことを考えないと、会員減少という現状を打破できません。入会して程なく、「入会して良かった」と思ってもらえるクラブにしていかなければならないと思います。

そのためには、クラブに DEI を取り入れなければなりません。多様な方を受け入れて、みんなを公平に扱って、何より一人ひとりの居場所があるクラブ、そして本心からお勧めできるクラブになれば、新入会員は増え、退会者は少なくなると思います。ぜひ、そんなクラブ作りを目指していきたいと思います。



### 3地域合同「公共イメージ向上オンラインセミナー」報告



#### 第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 寺嶋 哲生 (柏 RC)

2023年7月23日 Zoomにて3地域合同による「公共イメージ向上セミナー」が開催されました。各地区ガバナーや公共イメージ向上委員長始め、地域コーディネーターと同補佐、日本事務局を含む総勢約150名の参加を頂きました。

冒頭、佐藤芳郎 RI 理事から「日本のロータリー会員数は、下げ止まった感がある。ポリオ根絶・クリエイトホープに因んだ行事を行って地区とクラブ活性化の一助とし、ロータリーを育てよう」と、呼びかけられました。次いで、R1 田中久夫 ARPIC から「公共イメージを向上させる目的と期待される効果」・R3 簡仁一 ARPIC から「ロータリーブランドとロゴの重要性」と題し、示唆に富む講話を頂きました。

更に「クラブ活性化につなげるために」と題し、R2 桑澤一郎 ARPIC から「日本のロータリーとしてのポータルサイトの設置と登録依頼」について、R3 深尾兼好 ARPIC から「世界ポリオデーフォトコンテスト」についての説明を頂きました。

続いて「世界ポリオデーに向けての計画発表」として、2590 地区大塚正一公共イメージ委員長から「第2回世界ポリオデーJR 桜木町駅前広場」・2660 地区貴島陵太郎実行委員長から「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」・2680 地区田中正喜公共イメージ委員長から「ポリオデーIN 神戸まつり」・九州4地区を代表し田村香代子公共イメージ部門長から「九州4地区合同 CREATE HOPE プロジェクト・いっしょにやろう」についての紹介を頂きました。

質疑応答の時間では、2760地区伊藤靖祐 RRFC から各地区における事業予算の調達についての問いかけがあり、夫々の地区からは様々な工夫と苦勞についての率直な回答がありました。

セミナーの最後に三木明 R 財団管理委員会委員から講評を賜り、充実したセミナーを実施した主催者に対する謝辞と共に、ローターアクターである 2660 地区貴島陵太郎実行委員長に対し、今後の更なる活躍を期待する旨の激励がありました。

結びに、R3 丸尾研一 RPIC から「ポリオ根絶に決意を新たにした」との言葉を頂きました。

参加者からは、公共イメージの向上の必要性に対する理解が進み、ポリオデーの企画立案に関する有益なヒントを得られたなどの感想が寄せられ、充実したセミナーを実施できたものと思われます。



## ポリオ根絶と 10月24日世界ポリオデーについて



### 第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 梶原 等 (千葉 RC)

ロータリーと共にポリオをなくそう。野生型ポリオウイルスにより感染してしまう恐れのある子供たちを一日も早く救い出そうとして 1980年代に世界的な奉仕プロジェクトとしてロータリーが世界に先駆けて取り組みを開始、以来現在でも、第一優先項目にあげられているのがポリオ根絶活動です。

そして日本のロータリーとしては2年ほど前からエンドポリオの活動とロータリーに対する理解を高めるべく10月24日の世界ポリオデーに国内を上げてのエンドポリオの周知・募金（寄付）、そしてロータリーの活動を広報するイベントを一斉に開催しましょうという動きが全国各地で開催されるようになりその波は徐々に拡大し昨年はフォトコンテストを取り入れるなどの工夫もなされ各地区のロータリー活動に浸透してきました。

そこでエンドポリオイベントを開催するにあたりいくつかの注意点を確認しましょう。

現代の日本人にはポリオと言ってもピンとこないのが現状です。

まずはロータリアンである私達がポリオを正しく理解しその上でエンドポリオの必要性をPRする事です。

又、寄付は理解者からの支援であり、一般市民から頂く寄付に関しては理解を得られる方からのご奉仕であり強制的にならない様に十分気を付ける事が大切です。更に一般市民の方々には寄付をお願いするよりも世界の中には現在もポリオで犠牲になっている子供たちが沢山いる事を知ってもらう事です。

ロータリーが何故エンドポリオ活動を行っているかという事を理解して頂きエンドポリオが世界中で大切な活動である事をPRしていく事です。

広報活動の方法は色々な事が考えられます。市民の方々にポリオを正しく理解して頂ければ寄付もロータリー活動も十分な理解が得られます。

活動や広報の方法として地区全体で行うイベントと同時に各グループ（分区・ブロック）ごとにガバナー補佐を中心に同日、出来るだけ同じ時間帯、地区内各所でエンドポリオイベントを開催する事が効果的です。これは各グループやクラブが地区の要請やお膳立てだけでなく主体的に且つエリアを絞ることにより地元地域の社会にエンドポリオとロータリーをPRする絶好の機会になります。地区主導イベントでは地区委員会がテリトリー内のメジャーな場所で開催し、各グループやクラブは各々のエリアで個々に開催。出来たらオンライン配信を活用し各地を中継で結ぶなどの工夫をするとより一体感が生まれるでしょう。各地区ガバナーを中心に各ガバナー補佐のリーダーシップの下、地区全体が動き出すようなインパクトのあるポリオデーを開催してみませんか。10月24日の世界ポリオデーに向けて地区、グループ（分区・ブロック）各クラブでロータリーのPR、そしてエンドポリオ活動を推進していきましょう。今年度もフォトコンテストを実施します。各地区エンドポリオの活動報告を楽しみにしております。



## 1. 「再会 in 関東」開催 過去最多の1,000人超え

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（主催：関東10地区米山学友会）が8月5日、つくば市国際会議場で開催されました。また、前日には前夜祭、6日にはつくば市内で文化体験バスツアーが行われました。今回つくば市が開催地となった背景に、世界最大級のサイエンスシティが、勉学を目的に来日した経験を持つ米山学友が集うのに相応しい都市であるだけでなく、東日本大震災の被災地でもある地で大きな集いを開催することで、地域貢献・活性化に繋がりたい、という実行委員会の思いがあります。その思いの通り、世界38カ国の米山学友と現役奨学生638人、ロータリアン447人、その他家族などを含め、登録者数は総勢1,209人となり、広い会場は超満員となりました。



世界各国から集結した米山学友たち

同日午前中には、各学友会の活性化を目指したポスター、キャリアデザイン支援を目的とするビジネスポスターが会場内の壁面いっぱいに飾られ、当会役職理事や主催の関東10地区ガバナーの審査により、優秀作品に選ばれた作品には、式典内で目録が贈られました。また、「米山フェスティバル」と題し、各国のお菓子を持ち寄り、交流の時間が設けられました。

14時半から本大会式典が開始。オープニングセレモニーでは、第2回世界大会「絆 in モンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99/山形北RC）から、「再会 in 関東」実行委員長の朴貞子さん（2006-08/岸和田RC）へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。当会の若林紀男理事長、韓国学友会の全炳台会長（1980-83・91/仙台



朴実行委員長（左）へ引き継がれた大会のシンボル

北RC）、つくば市市長の五十嵐立青氏から、祝辞が述べられました。

今大会の開催に向けて、主催の関東10地区学友会ではチャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金407,381円は、子供の貧困問題に取り組むNPO法人Learning for Allの山村卓夫氏へ手渡しされました。

「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第2750地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友5人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年7月から活動を開始した第5代よねやま親善大使3人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。



ステージで「米山の絆」を合唱

会場を移して迎えた第二部の懇親会では、ベトナムやミャンマー、国内学友による民族舞踊、ダンスパフォーマンス、演奏や合唱が次々に披露され、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。

次回の第4回となる世界大会の開催地は台湾に決定。2026年6月に開催予定です。

## 2. 2024 学年度 奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563キャンパス（前年度569キャンパス）。指定校からの被推薦者数は1,789人（同1,901人）で、この中から新規奨学生約610人が選ばれます。今回、初指定校は6校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、14地区（同13地区）39

校（同33校）となりました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。

当会からは8月4日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

## 3. 寄付金速報 —2023-24 年度も好調にスタート—

前年同期比

+ 47.3%

普 - 0.8% 特 + 177.4%

2023 - 24 年度の最初の月となる7月の寄付金は約3億1,100万円でした。前年度と比べて約47.3%増（普通寄付金：0.8%減、特別寄付金：177.4%増）、約9,990万円の

増額となりました。前年度より1億円近く増額となったのは、年初早々に1億円の高額寄付をいただいた結果です。また、100万円以上のご寄付が個人・法人合わせて6件ありました。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 4. 北海道米山学友会が3年ぶりに総会開催

北海道米山学友会の総会が7月22日、札幌市内のホテルにて開催されました。同地区学友会はコロナ禍や会員数の不足により、しばらく活動を休止していましたが、約3年ぶりの総会開催となりました。当日は、準会員を含む12人の学友会員、16人のロータリアンの総勢28人が参加しました。

総会では、2022-23年度の事業報告、収支決算報告、2023-24年度の事業計画、収支予算案



などが協議され、終了後に懇親会を開催。久しぶりの再会を喜びました。

同学友会の朴炫珍会長（2014-15/札幌西RC）は、「繋がりを保つ、という大きな役割を持つ学友会活動ができなかった期間は、非常に辛かったです。今後時間をかけて元の状態に戻すために、ロータリアンの力を借りながら、ロータリアンと米山学友の関係・繋がりを強化していきます。私たちの活動を温かく見守り、ぜひ応援してください」と述べました。

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限2人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。申請条件がありますので、以下詳細ページにてご確認ください。地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。

詳細ページ

